

町民4300人の町役場で快適なローカルブレイクアウトを実現 クラウドサービスの円滑な利用を可能にする A10 Thunder CFW

顧客名:

竹富町

業種:

自治体

A10 のソリューション:

A10 Thunder CFWによるローカルブレイクアウト

課題:

- Microsoft Office のサポート終了に伴い、Microsoft 365への移行を検討
- 地理的特性から、LGWAN の閉じた環境では町民とのコミュニケーションが困難
- 三層分離のαモデルを堅持しながら、円滑にローカルブレイクアウト可能な環境が必要

導入効果:

- Microsoft 365 を含めたクラウドサービスへのローカルブレイクアウトを実現
- LGWAN 接続用の PC だけで円滑に業務ができる環境へ移行
- 離島でも業務が継続できるなど働き方の幅が拡大、生産性向上にも寄与



竹富町
DX課 係長 比屋定 寛丈氏



竹富町
DX課 主事 久保田 悠人氏



これまで以上にテレワークが定着するはずですし、業者や町民に対するレスポンスも早くなることで、住民サービスなどの向上にもつながるでしょう。

竹富町 DX課 係長 比屋定 寛丈氏

トライアルで使っていた職員からは、ずっと使いたいという声が多く、トライアルが終わってがっかりしたメンバーもいました。快適な利用環境に多くの職員が期待を寄せています。

竹富町 DX課 主事 久保田 悠人氏



琉球列島にある複数の島で構成されている竹富町は、庁舎内で利用している Microsoft Office のサポート終了に際して、Office アプリケーションのサブスクリプション型への移行を検討しました。この移行に伴い、三層分離のαモデルを堅持しながら円滑なクラウドアクセスが可能なローカルブレイクアウト環境を整備すべく、A10 ネットワークス（以下、A10）が提供する「A10 Thunder® CFW」を採用しています。

課題：離島の多い地理的特性も加味して Microsoft 365 への移行を計画

琉球列島の最南端にある八重山諸島に属する9つの有人島と7つの無人島からなる島嶼の町・竹富町。四季を通して気温の変化が少ない温暖多雨亜熱帯性気候で、原生林やマンゴーロープなどが生い茂り、好漁場となっているサンゴ礁など水産資源も豊かです。町全域が星空保護区に認定され、世界屈指の美しい星空を楽しむことができるうえ、トレッキングやダイビングといったレジャーだけでなく、古き良き町並みを巡りながら島時間を過ごせる魅力から毎年多くの観光客が訪れています。

町民4300人ほどの竹富町では、2023年3月に竹富町DX推進計画を策定し、誰もがわくわくする魅力あるまちづくりに町民・民間・行政が一体となって取り組むことを宣言しました。暮らし・教育・交流という3つのDX推進を通じてデジタル変革の取り組みを積極的に進めています。

そんなDX推進を進める過程で、これまで業務に利用してきたMicrosoft Officeのサポート終了に伴い、新たにクラウドサービスとしてMicrosoft 365への移行を検討することになりました。クラウドサービスへの移行は国の方針であることはもちろん、同町の地理的特性も大きく影響していると言います。「竹富町は9つの有人島に町民が点在しています。庁舎は石垣島にあるため、基本的に船で移動することが多いのですが、1日がかりの出張がメインとなってしまうことから、LGWANの閉じたネットワーク環境では町民とのコミュニケーションが取りづらい面があります。クラウドを含め、インターネットを通じて効率的に仕事ができるようになれば、住民サービスの充実にもつながると期待しました」と竹富町DX課係長比屋定寛丈氏は説明します。

検証：自治体での実績が豊富なA10 Thunder CFWに注目

竹富町役場における庁舎内ネットワーク環境は、自治体情報システム強靭性向上における三層分離のαモデルを採用しており、LGWAN接続系の環境では仮想環境を経由してインターネットへアクセス

してきました。「導入してから長い期間が経過している古い環境ということもあり、仮想化基盤を経由するとどうしても動作が遅くなってしまいます。クラウドサービスの利用も増えるなか、多くの職員から何とかならないかという声が寄せられていました」と同課主事久保田悠人氏は説明します。当初は仮想化基盤のパフォーマンスを向上させる案も検討しましたが、クリック数が減らないなど、従来通りの手間で工数だけが増えてしまうことが懸念されました。そこで、αモデルであってもインターネットアクセスを円滑に実現する方法がないか検討していたところ、他の自治体でのA10の導入事例を耳にしました。「そのとき初めてローカルブレイクアウトという方法を知りました。βモデルへの移行は職員のITリテラシレベルや内部の体制づくりを考慮すると難しいところですが、Microsoft 365への移行も同時に求められていました。そこでローカルブレイクアウトによる環境を整備することを考えたのです」と久保田氏は振り返ります。

ローカルブレイクアウトを実現するための環境整備に関してプロポーザル方式の入れを実施し、Microsoft 365だけでなく他のクラウドサービスについても円滑にローカルブレイクアウトできる環境づくりを要件にあげた結果、最終的に選ばれたのが他自治体での導入実績が豊富なA10 Thunder CFWでした。

ソリューション：自治体のローカルブレイクアウトを強力に支援する A10 Thunder CFW

高いパフォーマンスを発揮しながら快適なローカルブレイクアウトを実現するA10 Thunder CFWは、自治体向けに高度なセキュリティ環境を実装する三層分離のαモデルを堅持しながら、利便性の高いネットワーク環境を提供できる、複数のセキュリティ機能を1つに集約した統合型ADC+ファイアウォールソリューションです。セキュアWebゲートウェイやURLフィルタリングなど、強力な境界防御を可能にする機能が豊富に備わっています。

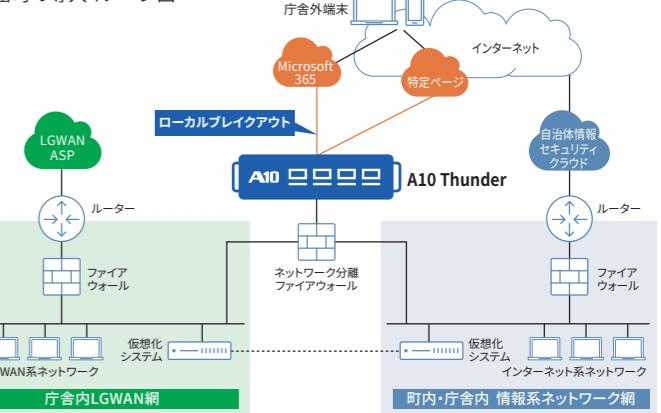
導入効果：1日あたり2～3時間の工数削減、離島を含めどこでも業務が継続できるなど働き方の幅が広がる

新たな環境構築の計画は、LGWAN接続系で利用する200台ほどのPCでMicrosoft 365を含めたクラウドサービスへアクセスするために、A10 Thunder CFWでローカルブレイクアウトを行うもので、ブレイクアウト後はファイアウォールを経由してインターネットへアクセスします。Microsoft 365以外では、電子契約やHP編集サービス、公式LINEの管理インターフェースであるSalesforceなどがブレイクアウトの対象となります。また、メール環境についてはMicrosoft 365にて提供されるExchange Onlineへの移行を予定しています。万一の時にはインターネットアクセスが継続できるよう、現在の仮想化基盤は残す計画です。

本格的な稼働はこれからとなりますが、トライアル段階での使い勝手は良好で、職員からも早期に本番へ移行してほしいという声が寄せられています。LGWAN接続用とインターネット接続用のPCを複数机に置いて作業せざるを得なかったメンバーの業務環境は大きく変わり、LGWAN接続用のPCだけで円滑に業務ができる環境になることへの期待は非常に大きいと言います。トライアルに参加した職員へのアンケートでも、多くの職員から業務時間が3～5割ほど短縮できたと回答が得られ、1日あたり2～3時間の工数削減につながると想定しています。

「仮想環境経由では画面の切り替わりだけでも時間がかかります。資料をダウンロードもしくはアップロードする場合でも、インターネット接続系の端末は数に限りがあり、使用中の場合は待ち時間も発生することもあります。そんな非効率な環境から脱却できる期待は大きいです」と久保田氏は語ります。現在は庁舎の業務が多忙で人手が足りないという声が上がっていますが、

竹富町の導入イメージ図



新たな環境への移行によって生産性の向上が期待できるうえ、人的リソースの効率的な活用で人手不足の解消にもつながることが期待されています。

クラウドサービスの利用が加速すれば、Copilot for Microsoft 365などAI技術の活用によって生産性向上につながるだけでなく、出張先である離島をはじめ、どこにいても業務が継続できるようになり、働き方の幅が大きく広がることは間違いないと言います。「仮想技術を使ったテレワークは実施していましたが、新たな環境ではよりテレワークの定着が進むでしょう。業者や町民に対するレスポンスも早くなるなど、住民サービスなどの向上につながるはずです」と比屋定氏は期待を込めて語ります。

A10については、自治体の事例をはじめ、総務省の最新動向も含めた適切な情報提供が行われており、内部での情報共有に役立てるなど、充実した支援に対して評価の声が寄せられています。「機器の手配やさまざまな交渉にも真摯に対応していただき、本当に助かっています」と比屋定氏は続けます。

今後の展開：Microsoft 365 以外にもブレイクアウトするサービスの拡充へ

今後について、稼働後にはMicrosoft 365以外にもブレイクアウトするサービスは増えていくと想定していますが、ブレイクアウトした後のクラウドセキュリティなど、対策を強化していくべき領域の検討を進めていきたいと言います。「情報収集を通じて他自治体の活用事例も参考にしながら検討していきたい。そうした情報提供はこれからもお願いしたいところです」と久保田氏はA10のサポートに期待を寄せます。

また、現在のインターネット接続系環境にはプロキシが設置されていますが、LGWAN接続系の環境にはまだ設置されておらず、必要が出でればA10 Thunder CFWでプロキシの役割を追加することも検討しています。「しっかり稼働させて安定運用に持ていきながら、いずれはA10 Thunder CFWの有効な活用方法を幅広く展開していきたい」と今後について比屋定氏に語っていただきました。

■ A10 Networks / A10ネットワークス株式会社について

A10 Networksは、オンプレミス、ハイブリッドクラウド、エッジクラウド環境における、セキュリティ、インフラストラクチャの課題を解決するソリューションを提供しています。大手グローバル企業や通信、クラウド、Webサービス事業者まで7000社以上のお客様に導入いただいており、ビジネスに不可欠なアプリケーションやネットワークの安全性、可用性、効率性を高めています。A10ネットワークスは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、世界のお客様にサービスを提供しています。A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワーキングソリューションをご提供することを使命としています。詳しいはホームページをご覧ください。

- URL : <https://www.a10networks.co.jp/>
- X (旧Twitter) : <https://twitter.com/a10networksjp>
- Facebook : <https://www.facebook.com/A10networksjapan>

記載された内容は2024年2月時点の情報です。

Learn More About A10 Networks

お問い合わせ
[A10networks.co.jp/contact](https://www.a10networks.co.jp/contact)

A10ネットワークス株式会社

www.a10networks.co.jp

©2024 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10ロゴ、A10 Networksは米国およびその他各国におけるA10 Networks, Inc.の商標または登録商標です。その他上記の全ての商品およびサービスの名称はそれら各自の商標です。A10 Networksは本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networksは、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。商標について詳しくはホームページをご覧ください。 www.a10networks.com/a10-trademarks

Part Number: A10-CS-Taketomi City-01 FEB 2024



沖縄県

最大で法人関係税の9割が控除されます！

竹富町企業版ふるさと納税で

お ジイマ 推し島

を応援しよう！



たけとみちょう

竹富町

2021年7月に
世界自然遺産に
登録されました！

9つの有人島と7つの無人島からなる、
日本最南端の大自然と文化の町

竹富町では、全国の個人、法人、団体などの皆様から「寄附」という応援をいただきながら、地域活性化に向けた取り組みを進めています。

企業の皆様を対象とし、法人税の一部控除が可能な「企業版ふるさと納税」や、バイン、マンゴーなどの南国フルーツをはじめ、様々なツアーや宿泊券などが返礼品として選べる「竹富町ふるさと納税」制度を導入しております。

これらの寄附金は自然環境保全や、教育、医療福祉の充実、産業の振興など、様々な分野で活用させていただいております。引き続き、皆様からのあたたかい応援の心をお待ちしています。



竹富町の情報はこちらから！
竹富町役場
公式ホームページ



ふるさと納税(返礼品あり)はこちらから！
竹富町ふるさと納税
特設サイト



企業の皆様はこちらから！
竹富町企業版ふるさと納税
関連ページ



あなたの島時間を見つけませんか
沖縄たけとみ島時間
島時間レボ、観光ルートなどご紹介